

2024年5月15日

各位

会社名 ITbook ホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 前 俊守
(コード：1447、東証グロース)
問合せ先 上席執行役員管理本部長兼CFO 野間 崇
(電話番号：03 - 6770 - 9970)

中期経営計画修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月16日に2023年3月期を初年度とする当社グループの中期経営計画を公表し、推進してまいりました。本日「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で2025年3月期の連結業績予想を公表したとおり、中期経営計画の最終年度にあたる2025年3月期の計画を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容

(単位：百万円)

連結	2025年3月期 (当初計画)	2025年3月期 (修正計画)
売上高	42,000	31,300
営業利益	1,750	1,090
経常利益	1,600	970
親会社株式に帰属 する当期純利益	1,000	280

2. 主な修正の理由

(1) M&A 戦略の遅れ

当社は中期経営計画の成長戦略の一つとしてM&Aによる事業拡大を想定しておりました。具体的には当社が掲げるコア事業（コンサルティング事業、システム開発事業、人材事業、地盤調査改良事業）とシナジーを発揮できるM&A先の検討を進めておりました。そのような中、2023年8月31日付「特別調査委員会の調査報告書の受領に関するお知らせ」で公表しましたとおり、M&Aに起因する当社の会計上の誤謬が発覚しました。これを受け、当社は2023年10月26日付「東京証券取引所への「改善報告書」の提出に関するお知らせ」および2024年5月8日付「東京証券取引所への「改善状況報告書」の提出に関するお知らせ」において、M&Aに関する発生原因の分析および再発防止策を公表しております。現在、当社は再発防止策で策定した業務フローに則り、M&Aについ

ては入念に検討を進めております。

その結果、M&A は当初の想定から遅れが生じることとなり、計画値を修正することといたしました。

(2) 市場環境の影響

・地盤調査改良事業

株式会社サムシング（以下「サムシング」といいます。）の売上の約半数は住宅に関する地盤調査・地盤改良であり、住宅市場に大きく左右されます。現在の国内における新設住宅市場は、金利の上昇や急激な円安によるスタグフレーション等による消費マインドの低下により、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の新設住宅着工数は前期比7%（出典：「建築着工統計調査」国土交通省）下落しました。特に持家の下落が著しく、2022年11月以降前年同月実績を割り込むのは2024年3月時点で28カ月連続となりました。このような中、サムシングは未出店エリアへの新規出店、店舗や低層マンション等へのシフト、新規事業（杭抜き・杭破碎等）を進めてまいりましたが、新設住宅着工数の下落の影響をカバーするに至らず、当初の計画を変更することといたしました。

・システム開発事業、人材事業

当社の人材事業のNEXT株式会社（以下「NEXT」といいます。）（2024年4月1日を効力とするシステム開発事業のITbookテクノロジー株式会社（以下「ITbookテクノロジー」といいます。）と吸収合併を実施）はシステムエンジニア（以下「SE」といいます。）を派遣するIT人材派遣を行っております。また、合併により消滅会社となったITbookテクノロジーはシステムソリューション・IoTソリューション・組込みソフトソリューション提供を中心とした受託開発事業を主業しておりました。NEXTの事業拡大にはSEの採用が必要不可欠です。しかし、少子高齢化により労働人口が減少しているのに対し、DX（デジタルトランスフォーメーション）による需要が拡大するなど、IT人材の供給が間に合っておらず、SEのようなIT人材の採用が難航しております。採用活動は強化しているものの、引き続きIT人材の採用は難航するものと想定されるため、当初の計画から変更することといたしました。

3. その他

現在公表しております「事業計画書及び成長可能性に関する事項」の修正版に関しましては、本件の内容も含め2024年6月末の公表を予定しております。

以上